

令和4年(2022年)3月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2022年3月 数量 (トン)	2022年3月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価
1	野菜	大根	神奈川県産・千葉県産中心の入荷でした。作付け減の影響により、入荷量はやや減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	483	108	93%	141%
2		キャベツ	愛知県・千葉県・神奈川県産中心の入荷でした。2週間程度の生育の遅れがあり、入荷量が減少し、平均単価は大幅に高く推移しました。	1,031	126	80%	180%
3		きゅうり	北関東・宮崎県産中心の入荷でした。入荷量は横ばいで推移し、平均単価はやや安く推移しました。	374	288	98%	92%
4		ほうれん草	茨城県産・群馬県産中心の入荷でした。低温の影響により、入荷量は減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	101	435	89%	124%
5		馬鈴薯	鹿児島県産・北海道産中心の入荷でした。鹿児島県産の前月までの出荷遅れが解消し、順調な出荷となった。入荷量は増加しましたが、平均単価は安く推移しました。	323	236	113%	81%
6	果実	その他柑橘	中晩柑類の入荷が前倒しされた結果、入荷量はやや増加しました。平均単価はやや安く推移しました。	592	324	111%	95%
7		りんご	不作により貯蔵量が少なく、入荷量はやや減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	263	346	94%	135%
8		いちご	全国的に3番果のピークとなり、入荷量は増加しました。平均単価は安く推移しました。	220	1,277	115%	89%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+)-0~2%
- ②やや増加(減少):(+)3~10%
- ③増加(減少):(+)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+)51%以上